

焼却・埋め立てゼロを目指して さらなるごみ減量・リサイクルに取り組もう！

市民のページ **知恵袋** **Part 28**

ごみ減量推進市民会議が企画・編集したコーナーです。

ごみ減量推進市民会議とは、「日野市ごみゼロプラン」を実行に移していく会議で、市民約20名で構成されています。



■ 日野市はリサイクル率が低く、焼却・埋め立てが多い

日野市の平成25年度の市民1人1日当たりのごみ総排出量は、多摩地域30市町村で少ない方から数えて第2位となっています。

しかし、処理の内訳を見ると、日野市のリサイクル率は高い方から数えて第19位にとどまり、他市に比べると焼却・埋め立てに回るごみが多いという問題もあります。焼却・埋め立てゼロを目指すためには、ごみの減量と併せて、分別を徹底し、リサイクル率を上げていかなければなりません。

日野市のごみ量・リサイクル率データ（平成25年度）

- 1人1日当たりのごみ総排出量 685g（多摩地域 第2位 ※1位 小金井市）
- リサイクル率 27%（多摩地域 第19位 ※1位 小金井市、2位 調布市）
- 1人1日当たりの焼却量 497g（多摩地域 第8位 ※1位 小金井市、2位 国分寺市）
- 1人1日当たりの埋立量 2g（多摩地域 第22位 ※11市がすでに埋め立てゼロを実現）

※ごみ排出量は、市の収集や集団回収に出した資源物を含めています。
 ※リサイクル率は、集団回収分を含めていますが、焼却処理後のリサイクル（焼却灰のエコセメント化など）は含めていません。
 ※データは、公益財団法人東京都町村自治調査会「多摩地域ごみ実態調査」より

■ 紙類は減量、リサイクル率ともがんばっていますが…

ごみ種ごとにみると、紙類は1人1日当たりの排出量が多摩地域第1位で、リサイクル率も多摩地域第3位とがんばっています。紙類の減量とリサイクルをさらに徹底しましょう。

生ごみは1人1日当たりの排出量が他市に比べてかなり多く、各家庭で生ごみの減量や堆肥化により一層取り組み、ごみの収集に出さないようにすることが必要です。市による生ごみの分別収集・リサイクルも今後の課題です。

プラスチック類やその他のごみも、さらなる減量とリサイクルが求められます。

日野市のごみ種ごとの1人1日当たり排出量・リサイクル率&多摩地域でのランキング

ごみ種別	〈処理の内訳〉		〈排出量とランキング〉	
	リサイクル率	焼却・埋立率	排出量	多摩地域でのランキング
生ごみ	焼却 100% (市の収集・処理分)		133g	第21位
紙類	リサイクル 51% (第3位)	焼却 49%	234g	第1位
プラスチック類	リサイクル 5% (第27位)	焼却・埋立 95%	140g	第14位
その他のごみ	リサイクル 34% (第14位)	焼却・埋立 66%	178g	第13位

※データは、NPO法人ごみ・環境ビジョン21「ごみっと・SUN」No.104より
 ※プラスチックごみのリサイクル率が極端に低いのは、他市のように容器包装プラスチックを全品目分別収集していないためであり、現在、日野市でも実施する方向で検討しています。

ごみ減量やリサイクル できることをこまめに始めてみよう



生ごみ 減量・堆肥化する

「3切り」を実行

水切り 食べ切り 使い切り

庭に埋める

堆肥化する → できた堆肥でベランダや庭で野菜や花を作る

ダンボール コンポスト などで

プラスチック類 なるべく家に持ち込まない、分別を徹底し、極力リサイクルへ

レジ袋 → マイバッグを持参して断る

ペットボトル → なるべく買わない、お店の回収ボックス、市の資源収集へ

発泡トレイ → お店の回収ボックス、市の資源収集へ

発泡スチロール類・プラスチックボトル → 市の資源収集へ

紙類 分別を徹底し、極力リサイクルへ

新聞・折込チラシ → 新聞販売店の回収、集団回収、市の資源収集へ

本・雑誌 → 集団回収、市の資源収集へ

段ボール → 集団回収、市の資源収集へ

紙パック → お店の回収ボックス、集団回収、市の資源収集へ

雑紙 → 紙箱、紙袋、包装紙、カタログ、チラシ、封筒(白色)、はがき、ノート、トイレットペーパーの芯(平らに開く)など → 集団回収、市の資源収集へ

その他のごみ 分別を徹底し、極力リサイクルへ

古着・古布類 → 集団回収、リサイクルショップ、市の資源収集へ

びん → 集団回収、市の資源収集へ

かん → お店の回収ボックス、集団回収、市の資源収集へ

小型家電・金属類 → 市の資源収集へ